

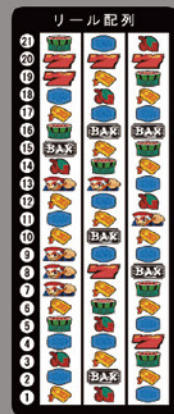
回胴倒錯者

— PACHISLO FREAK —

敬遠

とある休日、用事で向かった大阪市中心区、用事を済ませたあとはいつものようにスロット。ある商店街を散策しているとその一角にスロット専門店を発見した。店内も外見も田舎にはないような造りで、スペースを効率よく使用し、かなり複雑な台の配置だった。店内にはあまりお客はおらず、稼動は2割程度。平日の昼間なので営業をサボリ中のサラリーマンの姿が多数うかがえる。ホール内をぐるりと一周すると、本日は新台入替の様子で15時開放と張り紙のされた8台の「ギンギン丸（ロデオ）」があった。ただ今の時刻は14時50分。せつかくだから少し打ってみようと開放時間待っていた。暫くすると「ただ今より、新台コーナーの抽選会を行いますので、ご遊技ご希望のお客様はカウンター前までお集まり下さい」というアナウンスが流れた。そそくさとカウンター前まで行ってみるが、誰もいない。新台希望のお客様は私だけだったのだ…。抽選会などする必要もなく、普通に開放された新台のカド台に着席し、早速遊技を開始する。この機種はストック仕様のBタイプで、向かって右側についているドットによって多数の演出が楽しめる。通常時逆押しが有名で、フラグの察知や、楽しむうえでもかなり効果的な打法となっていた。この時は台の仕様などは全く知らず、小役を取りこぼさないように打っていただけだった。20分ほどが経過しても新台を打っているのは私だけで、この事態を放置できないと判断したのか強烈なアナウンスが流れた。「本日のご来店まことにありがとうございます、新台コーナーにはまだまだ空き台がございます。尚、本日は新台はすべて設

ギンギン丸ロデオ（2002年7月）
内部確率が甘いため、ストック0でもそれほど問題はない。ドットに地名が入れは激アツ。



定6：（以下略）「普通なら台の奪い合いだと思うのです。しかしそれでも満席にはならず、2・3台は空き台のままだった。さらにちよつと打ってやめていったりして満席になることはなかなかありません。それでも私は打ち続けていた。それは順調にメダルが増え続けているからだ。さすが設定6と思わせる。Bタイプということもあるのだろうが、ほとんどハマらない。そのくせ妙に連チャンする。もしかしてストック機？そのことに気づいたのは新台コーナーがようやく満席になった夕方だった。新台開放のときが思い出される。皆が座らなかつたのはストック機と知っていたから？新台だからストックはされていないと考えたから？AT機やストック機、いろいろな機能が付いて複雑化された時代に知らない機種は危険と感じたから？今となつてはその理由は分からないが、きつと例に挙げた理由の方がほとんどだろう。真つ先に新台に飛びついた私は5千枚ほどを出していた。今回は偶然勝利を得たが、安易に新台に座るのも少々危険

復活

を伴うのかもしれない、そしてまたそう感じたのも時代の流れに違いない。

まとまった休みが取れたため、三重に帰省していた。早速N君と連絡を取る。「久々にだよ、超技術介入マシンが。M店に今日導入されたみたいだから、明日にでもいつてみよう！」

スロット大好きN君の返事は即答でOK。当日はやる気満々の30分前から並び始めた。並んでいる最中も久々の再会に会話も弾み、30分という時間はあっという間に過ぎていった。開店と同時に皆が一斉に走り出す。私たちも遅れをとるわけにはいかないので、慌てて走り出す。そして見事に新台ゲット！しかしその島には誰もおらず、また、後続の方々も新台に座ることはなかった。この現象もいつもの事なので、「なんで新台2日目なのに人気ないの？」と思うより、「ああ、またか（笑）」そう思うだけだった。

その新台の名は「イレグイ」。メーシーから発売された純Aタイプの超技術介入マシンだ。個人的には技術介入時代の巻き返し!?と期待させられた名機ではあったが、この状況ではそれも叶うまい。

この機種の特徴は、2種類のBIG絵柄があり、揃える絵柄によってBIG中の難易度を自分で選択できるというものである。難しいBIGを選べば、その個々の目押し力により出玉が左右され、上手い人と下手な人との差はかなり出てくる。普通に目押しができるくらいの人なら、素直に簡単BIGを選択し安定的な出玉を確保したほうがはるかにマシなのである。BIG中のシステムは、15枚役の獲得やリプレイハズシ

せんし、盛り上がりらんし」、そう言っていたのを覚えている。

この日はその島で一番のメダルを積み上げ、大勝利だった。そしてその次の日も島で一番のメダルを積み上げ、2日連続の大勝利だった。3日目になると、N君が用事でこれ

□ホールの今昔

今と昔で変わったものといえば、まだ生まれて30年少々私の私でも、数多くの物事を思い浮かべることができず。身近なところでは誰もが困りの「ガソリン価格」。私が運転を始めた頃はまだ100円と少でした。それからぐんぐん値が下がり、80円程までになりました。それが今では当時の約2倍に高騰しています。車の性能が良くなり、燃費も2倍になっていけば問題ありませんが、さすがにそこまでの進歩はありません。この高騰はいつまで続くのでしょうか…。

これはマイナス方向への今と昔ですが、プラス方向のものも多数実感できます。単純なものとして、テレビのチャネル切り替えもそうです。今でこそ離れたところからでもリモコンで切り替え可能ですが、私の幼い頃はテレビまで行って、ガチャガチャ切り替えていた記憶があります。こういった細かなプラスを挙げれば数多く思い浮かべることが出来るでしょう。

ホールの変化も様々なものがうかがえます。軍艦マーチなど流れるホールは無く、派手なマイクパフォーマンスも稀となりました。週1回の定休日は無くなり、営業時間の延長。ホールにはワゴ

ないらしく、私一人で行っていた。結果は惨敗。設定1をもはるかに下回るボーナス確率にて撃沈。N君、ノリ打ちしませんか？心の中で私はそう訴えていた…。

ンレディが巡回し、イベントコンパニオンも登場しています。昔のパチンコ店のイベントといえは「新台入替」のみで、その他の日は基本的に通常営業。今はこのホールでも多種多様なイベントを開催しています。昔の殺伐とした雰囲気や、世間の目があるからなのか、当時女性客はかなり少なかったように思います。若い方はとくに少なかったのではないのでしょうか。今、ホールをぐるりと回って見ると、女性のお客さんの姿も多数見かけます（従業員も含め）。これらの変化は、パチンコ店のイメージを良くし、新規の顧客を開拓しようとしたホール側の努力の結晶であることは間違いありません。これはプラスの変化に違いありません。

それでも規制や景気、個々のホール離れ、いろいろな要因により厳しい現実も垣間見えます。この現状をどうやって打破しどう乗り越えて、どのような進化していくのか、今まさに岐路に立たされているこの業界が心配でもあり、楽しみでもあります。今まで進化し続けてきたホール。今でもいろんなアイデアがうかがえます。もう少しだけこの業界の行く末を見守っていこう、私はそう思います。

罰則

基本的に私はノリ打ち（複数人で打ち、利益も損益も折半）と言うものはない。技術介入全盛期を過ごしてきた私にとって、小役の取りこぼしや、ハズシの失敗、それ

をビタ押しで行うと、3種類ある15枚役のナビが100%発生するというものである。もちろんそのナビされた15枚役もビタ押しで獲得しなければ、次の15枚役時にナビ発生率が下がってしまう。ビタ押しを成功させ続けることが、大量獲得の条件なのである。簡単BIGで揃えると、ナビ発生率は常に2分の1でビタ押ししてもナビ発生率は変わることはない。



らが許せないからである。ノリ打ちする相手にもせめて私ぐらいの技術を持っていてほしいのだ。

なぜこの日、ノリ打ちになったか分らないが、そんな私の素性を良く知っているN君はかなり緊張気味だった。通常時こそ2人でその新たな機種に対し、この制御がどうだ、この演出がどうだ、この出目はあやしいだのと盛り上がりつつはいるものの、BIG中になると顔は真剣そのものである。そしてそのプレッシャーからか、時折ハズシをミスしたり、15枚役のナビが出なかったり…。そしてN君は言った。

「ミス1回につき千円払うわ」

そしてミスで千円というさらなるプレッシャーが重くのしかかり、その重なられた千円札は、徐々に厚みを増していくのであった…。

断つておくが、私はそんなつもりでノリ打ちを許容したわけではない。昔は生活がかかつていたけど、今は娯楽だからね。それでもN君は「このプレッシャーがないと上達も

A氏プロフィール

三重県出身。三重の高校を卒業後、進学のため大阪へ。学業よりもパチスロに専念してしまいお決まりコースの大学中退。中退後3年間はパチスロで生計を立てる。その後サラリーマンになるも収入はパチスロで。結婚のため三重に戻りホール店員となる。現在は知識と経験を生かし某店で設定師として手腕を振るっている。目押しレベルはスイカの種まで直視できるほどの異常っぷり。

